

# 奈良県感染症情報

平成30年第17週(4月23日～4月29日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報(臨時)
- マダニに注意してください

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	6.18	(5.53)	↗	→	↑	↓
2	A群溶連菌咽頭炎	2.09	(2.15)	↗	→	↗	↑
3	突発性発しん	0.68	(0.38)	↑	→	↑↑	↓
4	水痘	0.47	(0.26)	↑	↑↑	↑	↓
5	咽頭結膜熱	0.38	(0.44)	↗	↗	↗	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

## ◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎の報告数は、中和保健所管内西部地域で増加しています。調理の前、食事の前、トイレの後など手洗いをこまめに行いましょう。

現在のところ、夏に流行する手足口病やヘルパンギーナの報告数は少数ですが、今後増加してくることが予想されます。石けんと流水を用いた手洗いを習慣づけて下さい。また乳幼児は、おもちゃ等の共用から感染が広がる可能性があるため、できる限り共用は避けるようにしましょう。

## ❖ 小児科外来情報(臨時) ❖

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザAの感染が再び見られる。天理地区に多いとの情報。

また大阪勤務の親が感冒症状であったが本日受診の桜井在住の子供2名がインフルエンザA陽性、連休発熱中休日診療所受診するも無治療でおり蔓延も心配。

高熱が持続しやはり全身倦怠感が強く咳嗽をとまらぬ。

## マダニに注意してください

春から秋にかけて、マダニの活動が活発になります。

マダニに咬まれると、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)や日本紅斑熱などの病気になることがあります。マダニの生息しているような場所へ出かける時には、咬まれないように注意して下さい。

- ◆対策◆
  - 肌の露出を少なくする  
帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等
  - 長袖・長ズボン・登山用スパッツを着用する  
シャツの裾はズボンの中、ズボンの裾は靴下か長靴の中へ入れる
  - 足を完全に覆う靴を履く  
サンダル等は避ける
  - 明るい色の服を着る(マダニを目視で確認しやすくするため)

マダニ対策、今できること(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/sfts/2287-ent/3964-madanitaisaku.html>

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 30 年 第 17 週 4 月 23 日 ~ 29 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54 (0.33)	14 (0.36)	14 (0.50)	11 (0.18)	10 (0.40)	2	3	
インフルエンザ	18 (0.33)	5 (0.36)	7 (0.50)	2 (0.18)	4 (0.40)			
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	3 (0.09)			2 (0.29)	1 (0.17)			
咽頭結膜熱	13 (0.38)	4 (0.44)	1 (0.11)	5 (0.71)	3 (0.50)			
A群溶連菌咽頭炎	71 (2.09)	10 (1.11)	22 (2.44)	4 (0.57)	27 (4.50)		8 (4.00)	
感染性胃腸炎	210 (6.18)	26 (2.89)	54 (6.00)	45 (6.43)	83 (13.83)	1 (1.00)	1 (0.50)	
水痘	16 (0.47)	9 (1.00)		5 (0.71)	2 (0.33)			
手足口病	6 (0.18)	2 (0.22)	2 (0.22)	2 (0.29)				
伝染性紅斑	3 (0.09)		1 (0.11)	1 (0.14)	1 (0.17)			
突発性発しん	23 (0.68)	4 (0.44)	4 (0.44)	5 (0.71)	10 (1.67)			
ヘルパンギーナ	1 (0.03)						1 (0.50)	
流行性耳下腺炎	2 (0.06)	1 (0.11)	1 (0.11)					
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	6 (0.60)	2 (0.67)	3 (1.00)	1 (0.50)				
耳鼻科定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎	2 (0.33)			2 (2.00)				
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	3 (0.50)		2 (1.00)		1 (1.00)			

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市2、郡山1、中和1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバパネム耐性腸内細菌科細菌感染症2件(郡山2)

❖ 第17週のトピックス ❖

◆沖縄県、愛知県で麻しん(はしか)の報告が増加しています。  
麻しんは、感染力が非常に強く(マスク、手洗いでは予防できない)、強い免疫低下を起こす重症の感染症です。  
沖縄県、愛知県で患者が増加しており、予防のためにはワクチン接種しかありません。麻しんかな、と疑ったら、受診する前に必ず医療機関に連絡し、「麻しんかも知れない」ことを伝えたくて指示に従ってください。  
連絡無く医療機関を受診することは絶対に止めてください。  
また、受診の際には周囲の方へ感染させないよう、公共交通機関等の利用を避けてください。  
◆麻しん対策の更なる徹底について(協力依頼)(厚生労働省)  
[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou/iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/dl/180427\\_1.pdf](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou/iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/dl/180427_1.pdf)

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。  
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男		1					1					5				1					10	7825
	女								1		1		3			2		1		1	1	8	7795
RSウイルス感染症	男	1																				1	130
	女			2																		2	109
咽頭結膜熱	男			4			1															5	75
	女		1	3	2	1		1														8	78
A群溶連菌咽頭炎	男			4	4	4	6	5	2	2	5	2	3									37	539
	女			4	1		7	2	5	4	1	3	4		3							34	470
感染性胃腸炎	男	1	10	19	8	7	9	10	3	3	2	13	1	12								105	1564
	女	3	5	13	14	13	12	6	7	6	3	1	6	16								105	1346
水痘	男			2					5													7	58
	女		1					1	3	2	1		1									9	82
手足口病	男			1																		2	22
	女			2		1		1														4	25
伝染性紅斑	男						1	1														3	27
	女												1									12	121
突発性発しん	男		4	7	1																	11	94
	女		2	7	1	1																11	94
ヘルパンギーナ	男										1											1	14
	女																					1	12
流行性耳下腺炎	男								1													1	11
	女												1									1	15
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						1
流行性角結膜炎	男				1																	1	19
	女															2						5	29
細菌性髄膜炎	男																					2	2
	女											1										2	5
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																					1	8
	女		1																			1	9
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		1																			1	25
	女		2																			2	19

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28 〻 過去10年平均

